|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2022第1,2,3 RUTC答え24(39)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | |
| 2022年9月24日～ 9月25日週間祈りカード | | |
| △産業宣教  産業人の三つの使命(使2:9-11) | △核心/レムナントデイ  １０月学院福音化 | △レムナント伝道学  レムナントが探すべき基準(使1:1, 3, 8) |
| □序論\_地域分析→ 300か所タラッパン、13か所に黄金漁場を定めた(人を生かす計画をたてた)  「70弟子70地域」 -主のしもべを助けて教会を生かし産業を生かす基準   |  |  |  | | --- | --- | --- | | ネフィリム戦略 | 専門性 | 瞑想運動 | | 初めからあった  創3,6,11 | 3団体  -最も影響 | 学校に  入り込む |   マルコの屋上の間(集中) -カル、オリ、マコ-マルコの屋上の間に神様はすべてをみな注がれた。この祈りに集中しなければならない。神様の力が臨めば、門が開いて、3千弟子が起きるのだ。ここにカルバリの丘の契約とオリーブ山の約束とマルコの屋上の間がすべて入っていて、このイエス様の約束が完全に成就したのだ。  △一つだけずっと祈ってみなさい。最も大きい答えが70弟子の答えが現れる。分析だけすればよい。地域を置いて本当に祈っていると神様は先に産業を祝福して、みなさんに力を与えてくださるようになっている。この部分を最もよく成し遂げた人が、プリスカ夫婦であった。  1.残りの者(使1:1)-キリストで答えが出た者  1)ヨハ19:30(始まり) -終わったので何も必要なくて、問題にならなくなるべきだ。  2)マタ28:16-20天と地のいっさいの権威を持ってあなたとともにいる。  3)マコ16:15-20わたしの名で悪霊を追い出して、病気の者に手を置けばいやされる。  4)使1:1前の書-キリスト  5)使1:12-15この契約を握って完全に集中  使2:9-11地球上最高の答え  2.巡礼者(使1:3) -神の国の背景を持って巡礼者の道を簡単に行く。  1)私を御座化させる。  2)職業が御座化される。  3)現場が御座化-現場に神の国が臨む  神の国のこと-苦しいことが起こるとき、最も難しいとき、神の国のことが成り立つ時間  3.征服者(使1:8) -イエス様の約束である力によって征服  1)エルサレム　　2)ユダヤ　　3)サマリヤ　　4)地の果て  □結論\_ロマ16:3-4  1.命をかけた。  2.ローマ福音化を神様が完全に準備された。  3.伝道者後援-最も大きい祝福  決めること- 40日(オリーブ山)、10日(マルコの屋上の間)、使2:42(みことばを握ってひたすら祈り)、使2:46-47(毎日宮で毎日家で)、使18:1-4(まことの伝道者に会う最高の祝福) | □序論\_ 40日、10日集中  1.集まるたびに聖餐式-キリスト(救いに対する確信)  2.集中-変わる霊的状態(再創造の働き)  3.神様の絶対のことを見つけ出す特別祈り(正確な始まり)  4.定刻で祈り-たましいの中に臨むみことばと力(いやし)  5.答え-御座の力(味わうようになる時空超越の祝福)  金土日時代、金曜徹夜、礼拝のとき、この運動しなければならない。レムナントのときに刻印されたことは必ず出てくる。このように始めて24になれば25、永遠(神の国のこと、御座の祝福)が来る。答えが来るから答えの後のことを準備すべきだ。いのちをかけてこの時間を持ちなさい  □本論\_この(序論)祈りを味わえない人がすること。だまされてはならない。  1誰が小さい者で偉い人か  1.小さい者の質問-子どもが一番偉い。  2.質問-誤った人(すぐに懲戒せずに証人を連れて行って責めて勧めなさい)  3.一万タラント、百デナリ借りた者のたとえ(救われることができないのに救われたので、赦してあげなさい)  2間違った質問  1.パリサイ人-離婚(マタ5:28) →情欲を抱いた者はみな姦淫したこと  2.財産-金持ち(お金で救われることは不可能) →功労、献金で救われるのではない。  3.いやし-子ども→イエス様の関心  3イエス様が教えられた福音の働き  1.ぶどう園の労働者(賃金) -救い→努力と業績でない、イエス・キリストの御名で救われる  2.死の予告-十字架につく  3.間違った考え(天国に行けば誰が右、左にいるのか) -水準が低い世の中の話  △レムナントは福音が分からない既成世代に、信徒は福音でない律法にの中に陥ってはならない。  4エルサレム入城(霊的な目がくらんだ人々)  1.ろばに乗って来られたイエス様-平和を伝える者  2.宮きよめ-神殿の主人  3.いちじくの木のたとえ-イスラエルの未来  4.権威-何の権威で神殿でむちを振り回すのか質問  5.賃金を受けるためにしもべを送ったが主人の話を聞かないで主人の息子も殺したぶどう園の農夫  5仕上げの教え  1.結婚の披露宴のたとえ-招待に応じなかった人々、礼服を着ずに来て追い出された人々。わざわいと福音運動に関係ある話  2.税金(マタ22:21) -神様のものは神様に、カイザルのものはカイザルに  3.復活を信じないサドカイ人の質問  4.最も大切な戒め-神様をこのように愛してあなたの隣人を同じように愛しなさい。  5.ダビデの子として来られるキリスト-来られるイエス様を主と信じたダビデ  □結論\_世々にわたる前からおられた、受肉された、復活された、再臨主として立たれるキリストを握って、暗やみに勝ってその御名で祈ること | □序論\_レムナントが探さなければならない基準  1.刻印- 「見ること、聞くこと、読むこと」がみな刻印される。  2.根- 「生活」で刻印、傷ついたのがずっと根をおろす。  3.体質-これが完全に体質になって「運命」が決定  □本論\_レムナントはどんなことを、どの程度、基準とすべきか  1.福音  1)キリスト-見つけること(福音はキリストがみな完了されたことを見つけることだ)  2)すべてのこと-福音の他には必要ないとなってこそ、すべてを生かすことができる。  3) 「神様の臨在」ということを味わう基準が福音だ。  △御名(鍵) -福音を本当に悟ればイエス・キリストの御名という御座を開く鍵を神様が与えられる。そのときから祈りが始まる。  2.祈り  1)すべての問題-祈りはすべての問題が問題にならない。あのことを生かさなければならないためだ。  2) W、I、O -祈りは神様が私とともにおられるということとインマヌエルを味わってワンネスを成し遂げて神様のみこころを成し遂げること。  3) OUR -レムナントはずっと祈れば、ただという答えが来て、唯一性が見えるように。再創造が祈りの基準だ。  3.伝道  1)伝道を悟ればこの中にすべてがある。  2)「奴隷、捕虜、属国、流浪の民」の理由を知るようになる。  3)福音を分かれば時刻表も分かる(使11:19、13章、16章、ローマに)  □結論\_勉強(レムナント7人がした勉強は異なる勉強だった)  既成世代が知らない答えを神様がくださるようになっている。  指導者が知らない答えを神様がくださった。  △散らされた弟子たち  神様が知っておられる弟子(使9:10, 15)  □序論  散らされた弟子たちと働き人は、常に質問しなければならない。「私が真に伝道する人に間違いないのか」「私たちの教会は福音を伝える教会に間違いないのか」  □本論  1.備えられた者-真の福音  このとき、神様が備えられた者を付けられる。真の福音を持っているため  1)使16:15 「私を主を信じる者と思われるなら」  2)使17:6 「ヤソン」　 3)使18:1-4備えられたプリスカ夫婦  2.神様の計画-真の祈り  真の祈りが分かれば神様の計画を知らせる  1)使13:1-4 「どこへ行かなければならない」「何をしなければならない」  2)使16:6-10門を閉ざしても分かるようにさせる  3)使19:21、23:11、27:24 「ローマへ」  3.隠したこと-真の伝道  また、神様はこのとき、隠したこと、隠した人、隠した財産を送られる。真の伝道を知っている人なので。  1)使18:1-4プリスカ夫婦　2)ロマ16:23ガイオ3)ピレ1:1-25ピレモン  □結論\_根本、基本、基礎を直すべき  熱心程度ではない、私たちは命をかけるのだ。私たちは最善ではない、絶対だ。私たちは偶然でなく、必然だ。本当に福音の単語を握りなさい。 |
| 2022第1,2,3 RUTC答え24(39)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | |
| 2022年9月24日～ 9月25日週間祈りカード | | |
| △区域メッセージ  237か国と5000種族､いやし､サミット時代と私の24(マタ28:16-20) | △聖日1部礼拝  創造の力で根源をいやせ(ヨハ5:1-18) | △聖日2部礼拝/神殿建築献身礼拝  いのちのパンを食べられる神殿(ヨハ 6:26-40) |
| □序論\_集中(集中する時間を定めなさい)  朝－私:神様が私に向かう計画があるから、私のために集中祈り  昼－みなさん:思い出す人(みなさん)のために集中祈り  夜－メッセージ:メッセージを置いて集中祈り  △ヨセフが237、5000種族を置いてずっと祈ったが、これをすることができるように総理までなった。私たちは237、5000種族をいやして、レムナントをサミットにする祈りを24すべきだ。  1.価値-ただキリストで命をかける価値を発見してそれを祈り  2.ミッション-ただ神の国のミッションを発見したから人生をかけた祈りになる  3.証人-ただ聖霊に満たされた証人になることを祈ること  □本論  1.空いたところ-神様がおもに働かれる所  1)世界宣教の空いたところ  2)教会現場の空いたところ  3)未来に対する空いたところ  2.準備- 237教会の中に神様が与えられた大きな祝福は何か  1)三つの庭を準備すること  2)私たちは人を連れてきて生かす霊的医者  3)キリストを代わりに説明する霊的大使  3.答え-神様が準備された答えは  1)世々にわたる前に隠しておいたことを神様があらかじめ準備されておいた  2)祈っていれば今や現される。「助ける者、同労者、家主」として準備しておかれる  3)神様が未来に次世代を生かす祝福を隠して私たちに与えられる  △神様の計画は確実なので、私たちの信仰を大きくすべき。その信仰で霊的に成長して、とても働きが起こることを誰も知らずにいる。聖日は違うことをせずに集中して祈りなさい。  △創37:11 -祈りの人ヤコブは世界福音化をヨセフが話すと兄たちはあざ笑ったが、ヤコブは心に留めたとなっている。私たちの一人の祈りはとても大きな実を作り出す。科学的に確実な証拠がくる。  □結論\_何を止めたのか  1.奴隷　2.捕虜　3.属国(流浪の民)  △私たちの次世代は奴隷に、捕虜に、属国に、流浪の民にならないように、この福音を宣べ伝えるのだ。私たちの産業、残った時刻表、未来が世界福音化できる準備ができるならば、神様はすべてを与えられる。 | □序論\_福音を知っている人は祈りを知るようになって、祈りを知っている人は世の中を変化させる。  1.持続的に祈って答え受ける体験があるべき  1)持続的ヨケベデの祈り→モーセ通してイスラエル民族を解放させる働き  2)持続的ハンナの祈り→サムエル通してミツパ運動と戦争が終わる働き。  3)心を定めたダニエルの祈り→４人の王を動かす働き  4)ガリラヤの人々の祈り→世界を変える働き(初代教会)  5)一週間の祈り体験あるべき。信仰がなくて、できない。  2.38年間、病人  1)ヨハ5:1-祭りが関係ない。  2)ヨハ5:10 -安息日が関係ない。  3)立つこともできないこの病人を助ける人がいない。  3.病人に現れたイエス様-根源いやし  △大きい苦しみに遭ったとき、一人で一日三回ずつ賛美して、みことばを握って定刻礼拝して祈ったが、世界福音化するように人生を変えられた。礼拝のとき、一番重要なことを持って神様に祈れば、三位一体の神様が聖霊で働かれ、暗やみが砕かれて、御使いが動員され、御座の祝福が働く  □本論  1.超越的な恵み-病人を訪れられたキリスト  1)迷信を完全に破った時間(4節)  2)無能を破った時間  3)不可能を根源的に破った時間  2.超越的な答え-5つの原理  1)キリストが完全に暗やみを打ち砕いてしまわれた  2)キリストのみことばが私に臨むとき私の霊的状態がひっくり返る  3)キリストの命令と権威が現れるので環境もひっくり返る  4)みことばを信じていやし  5)御座の力が現れたこと-わたしの父が働いておられるので、わたしも働く(17節)  ※1週間みことばを握って祈りでこの五つを体験しなさい  3.超越的な信仰が必要  1)「わたしは神様と同等だ」みことば(ヨハ5:18、1:1、10:30)私たちにこの信仰が必要  2)キリストを見違えたユダヤ人－2千年間虐殺された次世代  3)いったいイエス・キリストはだれなのか。この超越的な信仰であるべき。キリストの御名の前に暗やみの勢力は震えるのに、この体験と答えを受けるべき  □結論\_福音持っている一人の祈りは御座と宇宙を動かす時間  △みなさんが握った契約と祈りはなくならない。  1.夜－メッセージを置いて集中的に祈り  2.昼－思い出すまま、問題を置いて集中的に祈り  3.朝－私が力を得るように集中的に祈り  △天と地と海と国々が揺り動かされる働きあるようになる。 | 祈りは霊的な呼吸だ。祈りができないならば霊的に息をできないでいるのだ。メッセージ受けて祈るとき、安らかに長く呼吸しなさい。力が生まれる時まで継続しなさい。するとレムナントは学業に数十倍の力ができる。  神様が私をここに座るようにされた意味を見つける祈り(どこでも)、力を得る祈り(朝)、答えを得る祈り(夜) →大きい力が生じるようになる。  みことばを通して重要な祈りの答えを握らなければならない。それを持って一週間祈れば、それからみことばが見える。  私たちが知らずに受ける答えとわざわいがある。それがさらに重要だ(マタ27:25)。  □序論\_神殿、偶像神殿  △ダビデは神殿建築を準備したが、ソロモンは最高の祝福を受けた。ある人は、偶像神殿を作って3、4代滅びる。  □本論  1.滅亡神殿(いやし) -滅亡神殿から出るわざわい、のろいを止めるべき  1)強大国－偶像神殿を作っておいて滅びるのに理由を分からない。  2) 1,2,3神殿－福音、三つの庭がなくてなくなった。  3) 五つのパンと二匹の魚－奇跡を見てイエス様を王として立てようとしたので、イエス様が避けられた。弟子も揺れた。  4)中世教会－福音がない教会は偶像神殿と全く同じだ。  5)現代教会－福音がないから偶像だ。  2.いのち神殿(準備) -いのちを味わう神殿準備  1)永遠のいのちの糧を食べる神殿準備(27節)  2)神様のこと(キリスト) -すべてののろいをなくすと約束されたキリストを信じること(29節)  3)天-まことのパン－神様が天から与えられるまことのいのちのパンを食べなさい(32節)  4)いのちを得なければならない(55-56節)  5)ヨハ6:63生かすのは霊で肉は無益なのだ。  △「三位一体の神様の霊が私に臨んでください。御座の力が臨んでください。時代を変える力を私に与えてください」ずっと祈って、講壇の重要なみことばを握って祈るのだ。  3.次世代神殿(未来) -次世代を生かす未来神殿準備  1)ヨハ6:15(休息) -次世代が霊的に休息する所が必要  2) 3つの庭(24) -多民族、次世代、病気の者が来て恵みを受けることができる24システム準備  3) 12使徒、70人-全世界、現場と国を生かすシステム準備  △この三つ(本論)を分かれば、じっとしているのに答えが来る。分からなければじっとしているのにわざわいが来る。  □結論  1.教役者  1)世界を動かす大教区－12時代を掌握する祝福  2) 70弟子－70地域、国を動かす答え  2.重職者(70倍祝福)  3.ローマ16章の答え－すべての信徒 |